

じゅんさい池みらいプロジェクト 基本的な考え方について

(1) 基本理念と目指す姿

“未来につなぐ じゅんさい池”

新潟市東区の物見山砂丘に数少ない砂丘湖として残されてきたじゅんさい池。

住宅地の中にありながら、樹林に囲まれた二つの池と豊かな自然の中で、水辺の植物や生物、鳥たちがかかわり合い、じゅんさい池の生態系を作ってきました。その風景は、四季折々、地域の人々の心を癒し、愛されながら時間を紡いできました。

私たちは、長い年月の中で育まれてきたこの貴重な環境や固有性の価値を認識し、地域の宝として未来につないでいく必要があることから、以下のような姿の実現を目指します。

- 人々が集う憩いの水辺空間として親しまれている
- 池の水環境と多様な動植物が生育できる自然環境が保全されている
- 環境学習や地域学習のフィールドになっている
- 価値や魅力が広く周知・共有され、地域の宝として愛されている

(2) 取組みの方向性

人々が集う憩いの空間づくりに加え、じゅんさい池の特性や環境等について学ぶことのできる場としての活用を図ります。また、多様な価値と魅力を周知し地域の宝として未来につないでいく機運の醸成を図ります。

駐車場やバス停に近接し、水辺と花などの季節の風景を楽しむことのできる東池エリアは、「人々が集う憩いの場」、
ジュンサイやタヌキモなど希少な水生植物が生育し、松林に囲まれた閑静な西池エリアは「自然環境を学ぶことのできる場」と、各エリアにおける方向性を位置付けます。

こうした方向性の実現のため、地域が主役となり、効果的かつ持続可能な取組みができるよう、これまでになく実施主体の掘り起こしとしくみづくりを、協働で進めていきます。

